

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-141487(P2019-141487A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-30716(P2018-30716)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 3 4
A 6 3 F	7/02	3 2 6 B
A 6 3 F	7/02	3 2 6 C
A 6 3 F	7/02	3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月14日(2021.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1機構体と該第1機構体を着脱可能な第2機構体とを備える遊技機であつて、

前記第1機構体は、該第1機構体と第2機構体を制御可能な制御手段を有し、特定第2機構体を含む複数種類の第2機構体に着脱可能であり、

前記第2機構体は、動作可能な可動体と、前記可動体を駆動させる駆動手段と、前記可動体の状態を検出するための検出手段と、遊技者の操作を検出するための検出手段と、該第2機構体の状態を検出するための検出手段とを含む複数の検出手段と、を備え、各検出手段の検出状態を特定可能な検出特定情報を前記制御手段に出力可能であり、

前記制御手段は、前記駆動手段により前記可動体を駆動させる制御が可能であり、前記第2機構体から出力される検出特定情報に基づいて、前記第1機構体が装着されている前記特定第2機構体であるか否かを判定し、

前記制御手段は、複数種類の第2機構体で共通に設けられる報知手段を用いて遊技に関する報知を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

第1機構体と該第1機構体を着脱可能な第2機構体とを備える遊技機であつて、

前記第1機構体は、該第1機構体と第2機構体を制御可能な制御手段と、該第1機構体の正規の第2機構体の種別若しくは該第1機構体の非正規の第2機構体の種別のいずれかを設定可能な設定手段と、を有し、複数種類の第2機構体に着脱可能であり、

前記第2機構体は、動作可能な可動体と、前記可動体を駆動させる駆動手段と、前記可動体の状態を検出するための検出手段と、遊技者の操作を検出するための検出手段と、該第2機構体の状態を検出するための検出手段とを含む複数の検出手段と、を備え、各検出手段の検出状態を特定可能な検出特定情報を前記制御手段に出力可能であり、

前記制御手段は、前記駆動手段により前記可動体を駆動させる制御が可能であり、前記第2機構体から出力される検出特定情報に基づいて、前記第1機構体が前記設定手段にて設定されている第2機構体の種別と一致しているか否かを判定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段Aの遊技機は、第1機構体と該第1機構体を着脱可能な第2機構体とを備える遊技機であって、

前記第1機構体は、該第1機構体と第2機構体を制御可能な制御手段を有し、特定第2機構体を含む複数種類の第2機構体に着脱可能であり、

前記第2機構体は、動作可能な可動体と、前記可動体を駆動させる駆動手段と、前記可動体の状態を検出するための検出手段と、遊技者の操作を検出するための検出手段と、該第2機構体の状態を検出するための検出手段とを含む複数の検出手段と、を備え、各検出手段の検出状態を特定可能な検出特定情報を前記制御手段に出力可能であり、

前記制御手段は、前記駆動手段により前記可動体を駆動させる制御が可能であり、前記第2機構体から出力される検出特定情報に基づいて、前記第1機構体が装着されている前記特定第2機構体であるか否かを判定し、

前記制御手段は、複数種類の第2機構体で共通に設けられる報知手段を用いて遊技に関する報知を実行可能である

ことを特徴とする。

さらに、手段Bの遊技機は、第1機構体と該第1機構体を着脱可能な第2機構体とを備える遊技機であって、

前記第1機構体は、該第1機構体と第2機構体を制御可能な制御手段と、該第1機構体の正規の第2機構体の種別若しくは該第1機構体の非正規の第2機構体の種別のいずれかを設定可能な設定手段と、を有し、複数種類の第2機構体に着脱可能であり、

前記第2機構体は、動作可能な可動体と、前記可動体を駆動させる駆動手段と、前記可動体の状態を検出するための検出手段と、遊技者の操作を検出するための検出手段と、該第2機構体の状態を検出するための検出手段とを含む複数の検出手段と、を備え、各検出手段の検出状態を特定可能な検出特定情報を前記制御手段に出力可能であり、

前記制御手段は、前記駆動手段により前記可動体を駆動させる制御が可能であり、前記第2機構体から出力される検出特定情報に基づいて、前記第1機構体が前記設定手段にて設定されている第2機構体の種別と一致しているか否かを判定する

ことを特徴とする。

さらに、前記課題を解決するために、本発明の手段1の遊技機は、

第1機構体（例えば、遊技盤2／可変表示ユニット）と該第1機構体を着脱可能な第2機構体（例えば、開閉枠50及び遊技機用枠3からなる遊技枠／本体部）とを備える遊技機（例えば、パチンコ遊技機1A, 1B／スロットマシン）であって、

前記第1機構体は、該第1機構体と第2機構体を制御可能な制御手段（例えば、演出制御用CPU120）を有し、特定第2機構体を含む複数種類の第2機構体（例えば、専用枠と共通枠）に着脱可能であり、

前記第2機構体は、該第2機構体の状態を検出するための複数の検出手段（例えば、遊技枠は、該遊技枠に搭載された操作手段や可動体の状態（位置）を検出可能なステイック原点位置センサ35A、ステイック引き位置センサ35B、ボタンセンサ36A、ロケット原点位置センサ37A、ロケット突出位置センサ37B、十字ボタンセンサ38A～38D、カバー体原点位置センサ39A、カバー体開放位置センサ39Bなど）を備え、各検出手段の検出状態を特定可能な検出特定情報を前記制御手段に出力可能であり（例えば、遊技枠に設けられるシリアル変換IC130は、入力ポート131への検出信号の入力状態を特定可能なシリアルデータを生成して演出制御基板12に出力することが可能である。）、

前記制御手段は、前記第2機構体から出力される検出特定情報に基づいて、前記第1機構体が装着されている前記特定第2機構体であるか否かを判定する（例えば、演出制御用CPU120が、S51Bの第3初期化処理のS61～S65，S68～S71，S80～S83，S87において、シリアル変換IC130から受信したシリアルデータに基づいて遊技枠の種類の判定を行う部分。）

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定第2機構体に装着されることによる不具合の発生を防止することができる。